

脳・こころ・社会を結ぶ研究の発展に向けて

開催のご案内

1. 趣旨：

(独)国立精神・神経医療研究センター (NCNP) は6つの国立高度専門医療研究センターのひとつであって、1986年に設置され、2010年に独立行政法人となりました。NCNPは、精神疾患、神経疾患、筋疾患及び知的障害その他の発達の障害に関する高度かつ専門的な医療および精神保健の向上を図り、もって公衆衛生の向上及び増進に寄与することを使命としております。

メルボルン大学は1853年の開学以来、研究、教育、社会活動に歴史的貢献を積み重ねてきました。イギリスの高等教育専門誌「Times Higher Education」の世界の大学ランキング (2012-2013) の28位にあり、その精神医学部門は生物学的研究と臨床応用、心理社会的研究、精神疾患の疫学そしてサービス提供におよぶ幅広い研究を行っています。

このシンポジウムでは、生物学的、心理社会的、社会科学的研究に及ぶ幅広い研究を行う両機関の研究と活動の紹介を行い、それらをさらに社会に役立てる視点を得ることを目的としております。

このシンポジウムに関心のある皆様のご来場をお待ちしております。

2. 日時：平成25年6月28日(金) 9時40分～16時30分

3. 場所：がん研究振興財団国際研究交流会館 国際会議室 (3F)
〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1
<http://www.fpcr.or.jp/about/access.html>

4. 対象者：本シンポジウムに関心のある皆様 (同時通訳あり)

5. 申込・問合せ：(独)国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
精神保健計画研究部内 シンポジウム事務局
TEL：042-341-2712 (6209) FAX：042-346-1950
E-mail：ncnp-uom@ncnp.go.jp

主催：

(独)国立精神・神経医療研究センター
メルボルン大学精神医学部門



— 脳・こころ・社会を結ぶ研究の発展に向けて —

プログラム

9:00	開場
9:40	開会のあいさつ 野田 広 (NCNP企画戦略室長)
10:00~11:00	AJF (豪日交流基金) によるメルボルン大学訪問の報告 座長：Chee Ng (メルボルン大学精神医学部門アジア・オーストラリア・メンタルヘルス) 服部功太郎 (NCNP神経研究所疾病研究第三部) 立森久照 (NCNP精神保健研究所精神保健計画研究部) 西 大輔 (NCNP精神保健研究所精神保健計画研究部) 川野健治 (NCNP精神保健研究所自殺予防総合対策センター)
11:00~13:00	シンポジウム①「精神保健の地域社会における役割」 座長：野田 広 (NCNP精神保健研究所 所長) Chee Ng (メルボルン大学精神医学部門アジア・オーストラリア・メンタルヘルス) Carol Harvey (メルボルン大学精神医学部門心理社会研究センター) Darryl Wade (メルボルン大学精神医学部門心的外傷後メンタルヘルスセンター) 金 吉晴 (NCNP災害時こころの情報支援センター) 堤 敦朗 (国連大学国際グローバルヘルス研究所) 竹島 正 (NCNP自殺予防総合対策センター)
14:00~16:00	シンポジウム②「脳とこころの研究の進歩」 座長：高坂新一 (NCNP神経研究所 所長) Ian Everall (メルボルン大学精神医学部門主任教授) Elizabeth Scarr (メルボルン大学精神医学部門精神医学・神経病理学研究室) 功刀 浩 (NCNP神経研究所 疾病研究第三部) 稲垣真澄 (NCNP精神保健研究所知的障害研究部)
16:00~16:20	シンポジウムに参加しての意見・感想 川崎洋子 (全国精神保健福祉会連合会理事長) 古屋光人 (日本てんかん協会常務理事)
16:20~16:30	閉会のあいさつ Ian Everall (メルボルン大学精神医学部門主任教授)



Australian Government

豪日交流基金

Australia-Japan FOUNDATION

